

13. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：	岡谷市民病院
病院施設番号：	031037

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 (部門)	小 児 科	産 婦 人 科	精 神 科	その他の研修を行う診療科							合 計
								整 形 外 科	皮 膚 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	緩 和 ケ ア		
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	1,413	645 (1,196)	767		146	47 ()	8	875	39	126	89	76	69		4,066
年間新外来患者数	3,063	4,732	779		1,266	454	69	2,304	1,024	665	275	14	-		14,356
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	204.6 (243)	()	50.43 (243)	()	19.74 (243)	18.99 (243)	8.94 (46)	115.83 (243)	33.32 (243)	40.93 (243)	22.49 (243)	7.27 (243)	()		
平均在院日数	18.15		12.91		1.76	4.11	56.8	23.6	7.97	7.17	2.93	62.0	63.81		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	13 (5)	1 (1)外科に含 まれる	7 (2)	1 ()	2 (2)	2 (2)	1 (1)	5 (2)	1 ()	1 ()	1 ()	1 (1)	1 ()		36 (16)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修病院の名称： 岡谷市民病院						
								病院施設番号： 031037						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
岡谷市民病院	内科	2	1	1	2	2	2	2						
	救急部門		1	1										
	外科								1	1	1	1	1	1
	小児科								1	1	1	1	1	1
	麻酔科													
信州大学医学部附属病院	内科	2	1	1	2	2	2	2						
	救急部門		1	1										
	外科								1	1	1	1	1	1
	小児科								1	1	1	1	1	1
	麻酔科													

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

救急部門は、12週の以上の必修分野のうち4週のブロック研修を実施後、他分野と並行研修により2年間で40日以上の日当直を研修とする。

13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称： 岡谷市民病院						
								病院施設番号： 031037						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
岡谷市民病院	内科											2	2	2
	救急部門													
	外科					1	1	1	1					
	小児科					1	1	1	1					
	麻酔科									1	1			
信州大学医学部附属病院	内科													
	救急部門													
	外科	1	1											
	小児科													
	麻酔科	1	1											

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

救急部門は、12週の以上の必修分野のうち4週のブロック研修を実施後、他分野と並行研修により2年間で40日以上の日当直を研修とする。

内科及び救急部門に係る患者の症例リスト

股関節・大腿近位の骨折、肺炎等、脳梗塞、誤嚥性肺炎、胆管（肝内外）結石、胆管炎、体液量減少症、扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎、前腕の骨折、急性膀胱炎、心不全、貧血（その他）、胆嚢水腫、胆嚢炎等、足関節・足部の骨折・脱臼、腎臓または尿路の感染症、ヘルニアの記載のない腸閉塞、急性腎不全、気胸、穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患、ウイルス性腸炎、精神作用物質使用による精神および行動の障害、虫垂炎、直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍、肩関節周辺の骨折・脱臼、その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害、間質性肺炎、胸水、胸膜の疾患（その他）、頻脈性不整脈、胃の悪性腫瘍、体温異常、膝関節周辺の骨折・脱臼、手術・処置等の合併症、前庭機能障害、肺塞栓症、慢性閉塞性肺疾患、徐脈性不整脈、閉塞性動脈疾患、肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む）、胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍、喘息、食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）、腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く）、頭蓋・頭蓋内損傷、出血性疾患（その他）、てんかん、肘関節周辺の骨折・脱臼、重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患、敗血症、高血圧性疾患、一過性脳虚血発作、詳細不明の損傷等、脳腫瘍、胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）、閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア、急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）、急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞、膿皮症、再生不良性貧血、非ホジキンリンパ腫、肝硬変（胆汁性肝硬変を含む）、非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）、口内炎、口腔疾患、劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎、慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全、肺・縦隔の感染、膿瘍形成、インフルエンザ、ウイルス性肺炎、狭心症、慢性虚血性心疾患、肺の悪性腫瘍、伝染性単核球症、非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤、非外傷性硬膜下血腫、声帯の疾患（その他）、その他の呼吸器の障害、脳脊髄の感染を伴う炎症、その他の変性疾患、片頭痛、頭痛症候群（その他）、肺循環疾患、脳血管障害、骨髄異形成症候群、2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全あり）、低カリウム血症、カルシウム代謝障害、上部尿路疾患、下部尿路疾患、腎、泌尿器の疾患（その他）、肛門周囲膿瘍、多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物、食物アレルギー、白血球疾患（その他）、コンパートメント症候群、皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創、手関節周囲の開放骨折、神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害、その他の感染症（真菌を除く）、生殖・月経周期に関連する病態、肝嚢胞、循環器疾患（その他）、その他の循環器の障害、食道の悪性腫瘍（頸部を含む）、結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍、クローン病等、虚血性腸炎、1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全あり）、肝膿瘍（細菌性・寄生虫性疾患を含む）、低血糖症（糖尿病治療に伴う場合）、細菌性腸炎、偽膜性腸炎、その他の消化管の障害、脊椎感染（感染を含む）、関節リウマチ、痛風、関節の障害（その他）、静脈・リンパ管疾患、アルコール性肝障害